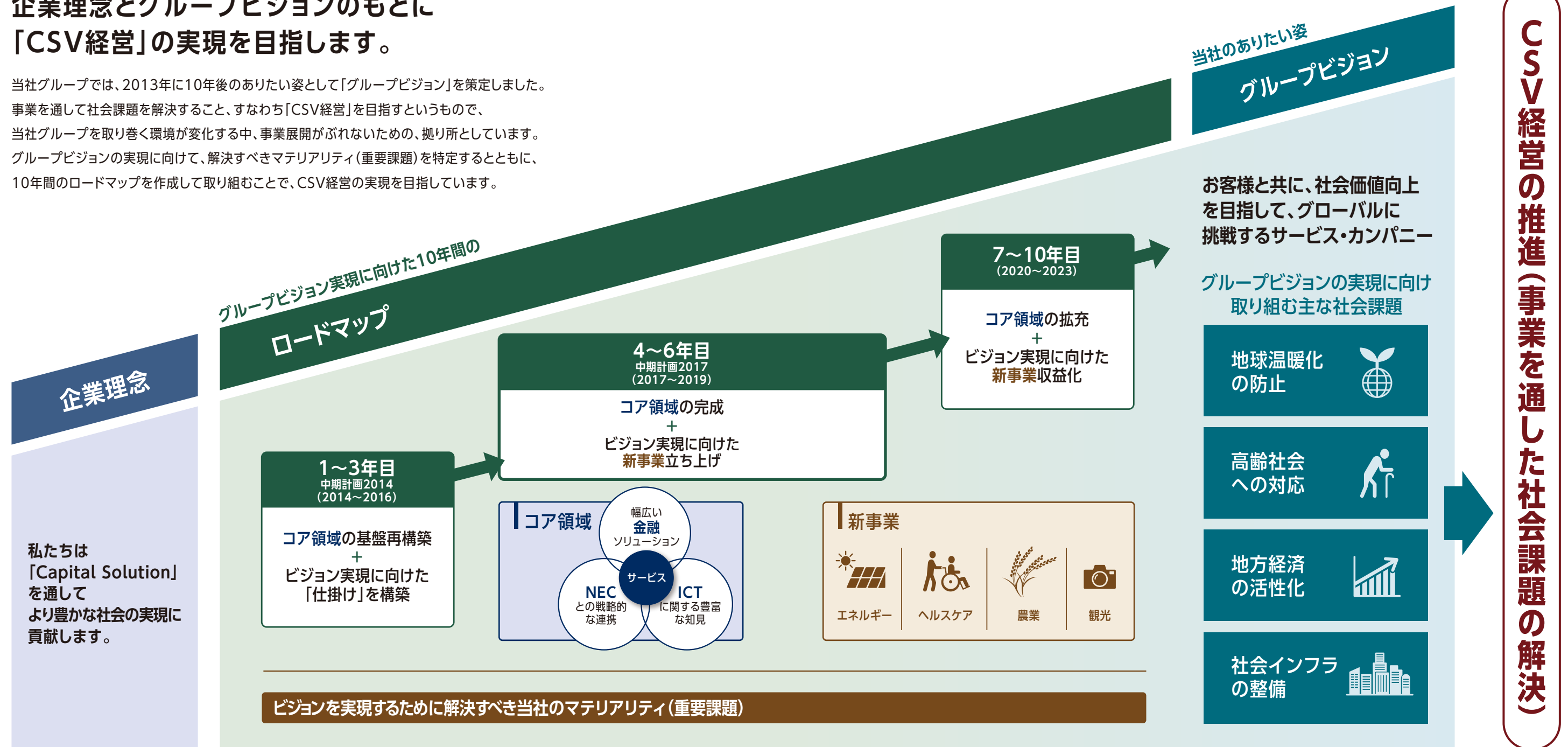


企業理念とグループビジョンのもとに「CSV経営」の実現を目指します。

当社グループでは、2013年に10年後のありたい姿として「グループビジョン」を策定しました。事業を通して社会課題を解決すること、すなわち「CSV経営」を目指すというもので、当社グループを取り巻く環境が変化中、事業展開がぶれないための、拠り所としています。グループビジョンの実現に向けて、解決すべきマテリアリティ（重要課題）を特定するとともに、10年間のロードマップを作成して取り組むことで、CSV経営の実現を目指しています。



当社のマテリアリティ

CSV経営実現を目指す当社は、マテリアリティ特定のプロセスの中で、一般的なCSR課題だけでなく、当社の経営課題も含めて抽出し、ステークホルダーが当社に対して求める姿を設定して整理しました。複数ある詳細課題の中から選んだ最優先課題は8つあり、3つに分類しました。

→ マテリアリティ特定の経緯等の詳細は、WEB版統合レポートをご覧ください。

■ 収益基盤の拡充

ステークホルダーから求められる企業になるため、収益性の向上と収益基盤の拡充に取り組めます。

▶ 具体的なマテリアリティ

- NECとの連携強化
- 資金調達基盤の強化
- 独自の顧客基盤の拡充
- グローバルビジネスの推進
- 新規事業の創出

■ 経営基盤の強化

経営リスクの低減と業務実行力の向上に取り組む、競争優位性を有する経営基盤を確立します。

▶ 具体的なマテリアリティ

- 業務品質の向上
- コンプライアンスの徹底

■ 企業風土の変革

企業として競争力を高めていくため、当社の最大の経営資源である社員が最大限に活躍できるよう取り組みます。

▶ 具体的なマテリアリティ

- 従業員満足度の向上

最優先課題については、中期計画に織り込むことはもちろんのこと、部門目標に落とし込み、KPI(重要指標)を設定し、毎月進捗状況を報告する仕組みになっています。今後はこれらKPIのPDCAサイクル[※]を回すとともに、ステークホルダーとの対話を積極的に行うことにより、マテリアリティの精度を高めCSV経営実現に向けて着実に歩みを進めていきます。

※ PDCAサイクル：事業活動における「Plan(計画)」、「Do(実施)」、「Check(監査)」、「Action(改善)」のサイクルのこと。

→ 詳しくはP13「ステークホルダーダイアログ」をご覧ください。

→ 詳しくはP31「当社の考えるPDCAマネジメント」をご覧ください。